



あなたのテーマは何ですか?

## 参加テーブル 活動概要 (発表順)

以下は活動にあたって会員マイページに掲載している活動概要です。当日の発表内容は各テーブル現在準備中です

① 11月14日 (火) 19:00~

### シングルセッション・キャリアコンサルティングの効果と変化への有効性

【table26】 < 活動概要 >

キャリアコンサルティングの相談支援の場面においては、例えば就労支援相談など同じ支援者による複数回の相談が担保されていない場面が少なからずあります。しかしながら、こうした場においてこそ、適切な支援を行い、具体的な成果を来談者に感じてもらう必要があります。このテーブルでは、そのような対応を日常的に行っている人のみならず、今後幅広くキャリアコンサルティング支援に携わっていきたいと考えているキャリアコンサルタントを対象に、そうした限られたキャリアコンサルティングの機会を有効にするためなにが必要かをともに考えていきます。

また、必要に応じてシングルセッションの支援の場で有効と思われるキャリア理論を学ぶ機会や支援スキルを身に着ける機会を設けることも視野に入れていきます。

お待ちしております

## ② 11月14日（火） 20：15～

### 公共機関（ハローワーク、若者・女性・高齢者支援等）は就労支援の最前線 —事例から学ぶキャリアコンサルタントの役割—

【table03】 < 活動概要 >

活動母体のライフ委員会は2018年1月より技能士を中心に発足

セーフティネットの一翼を担う公共機関の就労支援ではひとり親、長期失業者、病気・メンタルヘルス不全 など多様な課題を抱えた求職者を支援しています。私たちは「生きるための支援」をテーマに公共機関の就労支援の事例をもとに専門分野で10回以上の勉強会、事例検討会を重ねてきました。

第11回ライフ委員会ではコメンテーターに、キャリアコン業界の第一人者であられる木村周先生をお迎えし「これからのキャリアコンサルティングに求められるもの」をテーマに事例検討会の開催に至りました。『特別な支援を必要とする相談者に対するきめ細かい支援とネットワークの構築が必要』と改めて学ぶことができました。

今秋は元学習院大学特任教授の木村進先生をお迎えし『キャリアデザイン』の勉強会を開催します。

また、ハローワーク等の公共機関にて最前線で勤務する会員による就労支援や各種給付金制度など実践に基づいた勉強会、事例検討会を行い公共機関で働くキャリアコンサルタントの役割、必要な知識、連携についての情報共有、発信を行っていきます。

### ③ 11月15日（水） 19：00～

## SDGs×キャリアコンサルタント

【table11】 < 活動概要 >

～原点～

- ・キャリアコンサルタントが、SDGsに貢献できる可能性を模索していくこと。
- ・現段階でも、SDGsに貢献していることを社会に発信していくこと。
- ・キャリアコンサルタントにもSDGsの考え方を広めていくこと。

～活動方法（イメージ）～

- ・様々な価値観を共有するため、月に一度程度の頻度で集まり、ブレインストーミングを行なう。  
（テーマと場所を公表し、ピンポイントの参加も可能にしていきたい。）
- ・SDGsに取り組んでいる団体や人の話を聞く機会を設け、メンバーの意識を高めていく。
- ・【誰一人取り残さない】をスローガンに、お互いに高め合うことを取り入れ実行していく。

## ④ 11月15日（水） 20：15～

### 企業内キャリアコンサルティングを人材開発と組織開発の要とする

#### 【table29】 < 活動概要 >

本テーブルの主催者は普及が途上にある原因をセルフキャリアドック制度導入済みの企業と未導入となった企業様へインタビューを行い、分析を行いました。

また人事部門が抱える課題と従業員が抱える欲求との統合を図るためのキャリアコンサルティングの型を創り、実証実験を行っています。

有志の皆さんと本テーブルで活動したいことは以下の3つ

1. 組織開発ならびに人材開発のための企業内キャリアコンサルティングの在り方を確立させる
2. 企業内キャリアコンサルティングを担うキャリアコンサルタントの能力要件を整理する
3. 経営/人事の視点、従業員の視点、キャリアコンサルタントの視点の課題を共有しその解決策を探る

本テーブルの活動通じて、実現させたいことは次の2つです

1. 企業内キャリアコンサルティングは組織開発、人材開発に必要不可欠な存在とする
2. キャリアコンサルタントの活躍の場を広げる

活動の趣旨目的に賛同いただける方のご参加をお待ちしております。

⑤ 11月16日（木） 19：00～

## 自殺対策委員会

【table17】 < 活動概要 >

我が国の自殺者数は10年連続して減少し、2019年には1978年の統計開始以来、過去最少となった（警察庁自殺統計）。しかし依然として年間自殺者数は2万人を超えており、自殺死亡率も主要先進7か国の中で最も高く、非常事態は続いている状況である。そのようななか自殺対策は国を挙げて総合的に推進されている。

自殺総合対策大綱の「基本理念」として『誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す』『自殺対策は、社会における「生きることの阻害要因（過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立等）」を減らし、「生きることの促進要因（自己肯定感、信頼できる人間関係、危機回避能力等）」を増やすことを通じて、社会全体の自殺リスクを低下させる。』と掲げられている。

我々自殺対策委員会のメンバーも一人ひとりがこの理念を共有し、国家資格キャリアコンサルタント職能団体メンバーとしての責任及び自覚を持ち、自殺対策に取り組んでいく。

委員会では、自殺関連領域（自傷、自殺未遂、自殺既遂、自死遺族、身近な人や職場の同僚が自傷や自殺をした場合等々）においてキャリアコンサルタントとして適切な対応ができるように各種取り組みを行っていく。

具体的には、自殺対策委員会メンバーの自殺関連領域におけるケースカンファレンス、委員会内研修（自殺のリスクアセスメント及び自殺ハイリスク者への対応方法等）等から委員会活動を行い、今後外部機関や他職種からの(自殺関連領域における)キャリアコンサルティングの要請にも応えられるような基盤を整えていきたい。

## ⑥ 11月16日（木） 20：15～

### CCいろはラボ キャリコンの初めの一歩 ～現場で活かせる能力開発～

#### 【table25】 < 活動概要 >

キャリアコンサルタント資格は取得したものの、活躍する場が少ないことから、「今後どのようにスキルアップしていいかわからない」「具体的な支援の方法がわからない」「いつかはこの資格を活かしたい」などと思っているキャリアコンサルタントのみなさまと共に、コレクティブインパクト（協働的思考）の手法を用いて、キャリアコンサルタントの現場力強化を目的に誰もが活用できる技法（資料）作成を目指します。第11次職業能力開発基本計画では「キャリアコンサルティングの推進」「キャリアコンサルタントの専門性の向上」が挙げられています。キャリアコンサルタントが現場で活かせるサービスを提供できるよう研究を重ねていきます。

毎月1回90分のミーティングをオンライン（zoom）開催しています。  
ひとり一人が興味のある需給調整・教育機関・企業の各領域に別れテーマをもって研究を重ねています。

需給調整領域：キャリアコンサルティングにおける様々な場面でVPIの有効活用を提案すると共に誰もが使えるツールとしての研究を行っています。

教育領域：若年者に「働く目的」を考えてもらうために自己理解をどう促すかをテーマにキャリアコンサルティングの中で誰もが使えるノウハウをまとめる研究を行っています

企業領域：企業内におけるキャリアコンサルタント活用の有効性を浸透させるために現場で使える企業内キャリアコンサルティング制度導入のツールをまとめる研究を行っています。

【ゴール】3領域でまとめたツールやノウハウを共有し使いこなすことができること。それによりキャリアコンサルタントとして幅広く活躍できる場を広げていくことを目指しています。

⑦ 11月17日（金） 19：00～

## 「キャリアコンサルタント」「キャリアコンサルティング」概念の広報・発信について

【table04】 < 活動概要 >

統一的情報発信・戦略的広報活動による「キャリアコンサルタント」「キャリアコンサルティング」のブランディング、認知向上を目指すテーブルです。

働き方改革、副業解禁の流れなどに見られるように、新しいキャリアのあり方を考えることは時代の要請と言えます。国家資格キャリアコンサルタントの数は7万人を超え、キャリアコンサルティングの潜在的ニーズも高まっている一方、いまだに「キャリアコン」への世間の人々からの認知は芳しくありません。

この好ましくない現状の最大の原因は【キャリアコンサルタント側からの統一的・戦略的情報発信の不足】であると、私たちは考えています。

「職業紹介」や「臨床心理士等によるカウンセリング」などの隣接領域がある中で、「キャリアコンサルティング」「キャリアコンサルタント」という独自の分野・職業を根付かせるためには、統一されたビジョンに基づく情報発信が不可欠です。ACCNという職能団体の強みを生かして、戦略的広報活動により「キャリアコンとは何か」を世間へ伝えていくやり方をメンバーで練り上げていくのが本テーブルの狙いです。

「キャリアコンサルタント」「キャリアコンサルティング」という概念について、PR広報の観点から「世間にキャリアコンをどう認知させるか、どう根付かせるか」をテーマに議論を深め、具体的施策を導いていきたいと考えています。

## ⑧ 11月17日（金） 20：15～

### チームIchiban「企業におけるキャリアコンサルタントを定義し、キャリアコンサルティングの導入を段階的にアプローチする方策を検討すること」

【table01】 < 活動概要 >

企業内で働いているキャリアコンサルタントの皆さんと一緒に研究活動を行いたいと思います。資格は取ったけれど、企業でキャリアコンサルタントがどのような活動をすればいいのか分からないという方は多いと思います。

そんな疑問を解決するために当テーブルの活動の目的は、「企業におけるキャリアコンサルタントを定義し、キャリアコンサルティングの導入を段階的にアプローチする方策を検討すること」とします。

具体的には、

- ・ 普段企業内で働く我々がキャリアコンサルティングの知識を企業領域でどのように活かせるのかを模索する
- ・ 企業領域におけるキャリアコンサルタントを定義する
- ・ 企業内におけるキャリアコンサルティングの導入を段階的にアプローチする方策を検討する
- ・ 研究の成果をレポートにまとめ、発表用の資料を作成する  
(最終レポートはWordで6ページ位の論文形式とする。発表をするための説明資料をPowerPointで作成する)
- ・ あまりCCが活発でない企業内ですべきことは何なのか？を考える

こうした内容について学習や情報交換、話し合いなどから、あるべき姿を一緒に考えませんか？  
活動は月に1回程度、Webや集まって話し合いをする形式を想定しています。



⑨ 11月18日（土）10：00～

## 精神障害者就労における、キャリアコンサルタントと企業側双方の視点から取り組む 就労先定着支援について

【table06】 < 活動概要 >

2018年より精神障害者が法定雇用率算定に加わったことにより、従来以上に精神障害者の雇用が社会的責任となってきたおり、就労先定着が法定雇用率の維持、向上には不可欠と思われる。精神障害者が就職後安心して勤務し続けられるように（定着を目指し）、キャリアコンサルタント側と企業側両方へのアプローチを検討する。実施にあたり、テーブルメンバーのキャリアコンサルタントが主体となり、精神保健福祉士、公認心理師、需給調整機関担当者、人事採用担当等のそれぞれの専門性をフルに活用し、課題に取り組んでいきたい。（東京支部による支部テーブル）

⑩ 11月18日（土） 11：15～

## 【まちのキャリアコンさん】 活動推進Project

【table27】 < 活動概要 >

【キャリアコンとして活動したい！！】

セミナーや相談会など実際に活動したいけどひとりでは不安な方、一緒にやりませんか？

個人活動相互協力隊を北関東から始動します。

『キャリアコンって何？』なんてもう言わせない

そもそもキャリアコン資格保有者には

- 豊富な人生経験
- 専門的な職業経験
- 新しい資格に対するチャレンジャー精神
- 人のために何かしたいという気持ちがある方ばかりです。

夢は

まちのキャリアコンさん=まちキャラ  
活動を全国に拡げてフェスを開催すること

人生100年時代…CCとCL相互の生涯QOL向上に、繋げていきましょう！

⑪ 11月18日（土） 13：00～

## 神経発達症(発達障がい)の特性を持つ児童へのキャリア形成支援

【table30】 < 活動概要 >

昨今のSDGsの1つのテーマとしてダイバーシティ(多様性)が挙げられており、関連法令をはじめ、対応指針が整備されている途上にある。神経発達症についてもダイバーシティの中に含まれるものであり、解決すべき社会課題の一つとなっている。ただ、現状では修学環境と就労環境との間で大きく解離がある状態であり、就職後のギャップに当事者が適応することが困難であることも多い。

そこで、就職までの間に自らの特性として得意を伸ばし、苦手とうまく付き合っていくことに関して、どのようなサポートがあれば就労しやすくなるのかについて知り、人生と仕事に関する専門家としてのスキル向上に努めることを目指すことを本活動の目的とした。また、活動地域を全国とすることで、各地の優れた関わり方の例を日本国内で標準化することもあわせて目指したい。

# みんなの「生きる」を キャリアでつなぐ。ACCN

ACCNには  
いろいろな活動のキッカケがあります。  
一緒に活動現場を創っていきましょう

